

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

(別添様式2)

公表日: 2022 年 12 月 15 日

事業所名: ゆずの森

サービス種類: (放課後等デイサービス)

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	一日の利用人数に合わせたスペースの確保をしています。学習や療育等の内容でスペースを分けて活動をしています。	はい…100%	今後も集中しやすい環境や活動しやすいスペースを確保し安全に過ごせるようにしていきます。
	2 職員の適切な配置	必要とされる人数の配置をしています。	はい…81% どちらともいえない…13% わからない…6%	今後も引き続き必要な人数の配置をしていきます。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	安全に移動できるような声掛けや見守りを行っています。情報は見て分かりやすいよう、ホワイトボード、写真、カードを活用し分かりやすくしています。	はい…88% わからない…12%	今後も安全面には十分な配慮をしていきます。情報伝達は視覚を意識しながら分かりやすく伝えていきます。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	室内はこまめな換気を常にサーキュレーターを稼働しています。利用児童帰宅後は、日々掃除・消毒を行っています。	はい…94% わからない…6%	引き続きこまめな換気・掃除・消毒をしていきます。おやつや食事をする際は、パーティションの活用また対面にならないよう着席していきます。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	日々業務日誌に記入しスタッフ全員が確認し情報共有をしています。またミーティング等の時間を設け毎日出勤していないスタッフにも必要な限り情報の共有を行っています。		今後も、一人ひとりの課題確認、支援内容の振り返りをしてスタッフ間で情報共有をしていきます。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	第三者評価は実施していません。		今後、必要であれば検討します。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	オンライン研修を含め可能な限り積極的に研修に参加しています。研修後はミーティングを行い今後の支援に繋げています。		今後も可能な限り外部研修、オンライン研修に参加しスタッフのスキルアップに繋げていきたいと思ます。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	個別支援計画を作成する前に評価を行い評価に基づき保護者と面談を行っています。面談後、会議を行ったうえで次回の個別支援計画を作成しています。	はい…100%	今後も個別支援計画を作成する前には日々の記録や家族からの意見を取り入れながら現状把握をして個別支援計画を作成していきます。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	それぞれの課題に応じ個別支援、集団支援を組み合わせ支援計画の作成を行っています。		今後も、個々の課題に合わせて個別支援と集団支援を組み合わせ支援計画の作成をしていきます。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	個別支援計画には目標、課題、支援内容等の記載をしています。また、保護者に同意をもらう際は口頭での説明を行っています。	はい…88% どちらともいえない…6% わからない…6%	今後も、目標、課題、支援内容等は家族または本人のニーズを汲み取りながら分かりやすい内容で記載していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	個別支援計画を確認し個々に合った支援を行っています。また、スタッフ全体が共通した支援ができるよう努めています。	はい…88% どちらともいえない…6% わからない…6%	今後もスタッフ間で情報の共有をし支援計画をもとに共通した支援ができるようにしていきます。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	スタッフ間で検討し季節や行事に応じたプログラムの立案をしたり日々のプログラムの内容が固定化しないようにしています。また、個々に合ったプログラムの内容を検討し活動しています。		今後も様々なプログラムの立案をしプログラムの内容が固定化しないようにしていきます。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日は個別、集団活動を中心に支援し、土曜日や長期休みはクッキングや公園、外出を取り入れ平日とは違うプログラムを行い療育支援ができるようにしています。		今後も土曜日や長期休みは平日にはできないプログラムを取り入れ充実した時間を提供していきます。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	活動やプログラムはスタッフ全体で様々な内容を検討し実施できるようにしています。また一人ひとりの特性に応じた課題や活動ができるようにしています。	はい…81% どちらともいえない…13% いいえ…6%	今後もプログラムが固定化しないよう、スタッフの意見を出し合い様々なプログラムを検討していきます。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	支援開始前、スタッフ間で一日の流れを確認し連絡事項、注意事項等の確認をしています。担当、役割分担についても確認しています。		今後も引き続き確認を行っていきます。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	日々業務日誌に記入し常に振り返りができるようにしています。またスタッフ間で一日の様子を確認し、情報共有を行っています。		今後も引き続き適切に情報共有を行っていきます。
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	業務日誌を活用し正確な記録を行っています。また一日の振り返りをし、支援内容の検証や改善を都度行っています。		今後も引き続き業務日誌の活用をし、検証・改善を行っていきます。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	半年に一回、モニタリング、保護者面談、スタッフ会議を行い、それをもとに支援計画の見直しを行います。また必要であれば半年を待たずに見直しを行っています。		今後も引き続き半年に一回、または必要な時に、支援計画を評価し見直しを行っていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	担当者会議への参加依頼があった時は児発管が参加し、必要であれば指導員も参加しています。会議の内容は書面に残しスタッフ間で情報の共有をしています。		引き続き継続していきます。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	現在に至るまで、医療的ケア・重度心身障害のある利用者はいません。		
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	現在に至るまで、医療的ケア・重度心身障害のある利用者はいません。		
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	担当者会議等に参加し、他事業所との連携を図り情報共有をしています。また学校に迎えに行った際、必要な限り先生と情報共有をしています。		今後も必要な時は他事業所や学校と情報共有を行っていきます。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	現在に至るまで学校を卒業した利用者はいません。		今後、利用者が学校を卒業された時は相談員を通して必要な情報を共有をしていきたいと思っています。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	オンライン研修を含め、可能な限り外部研修にも参加しています。		今後も積極的に研修に参加し職員の質の向上に努めていきたいと思っています。また専門機関との連携をとっていきます。
	7	児童等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	外部との交流は行っていません。	はい…31% いいえ…6% わからない…63%	今後、交流の依頼があれば検討していきたいと思っています。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	避難訓練時、氷丘公民館を活用させて頂いています。事業所内の行事に地域の方を招待する事はしていません。		今後も地域住民の方のご理解ご協力を得られるよう努力していきたいと思っています。
	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時、分かりやすく説明をしています。質問等があれば都度、説明を行っています。	はい…81% どちらともいえない…13% いいえ…6%	今後も、ご理解いただけるよう、しっかりと説明させていただきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責任・連携支援	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	保護者には支援計画をもとに分かりやすく説明させてもらっています。	はい…100%	今後も、ご理解いただけるよう丁寧に説明させていただきます。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	面談時や送迎時、保護者から相談があった時は、一緒に考えたり助言をしています。	はい…63% どちらともいえない…6% いいえ…19% わからない…12%	今後も、可能な限り保護者と一緒に考えたり助言を行っていききたいと思います。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	自宅送迎時、口頭でその日の様子を伝えたり、連絡帳を活用しその日の様子を記載し共通理解ができるようにしています。	はい…86% どちらともいえない…14%	今後も引き続き、保護者との共通理解を徹底していきます。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	相談があった時は、可能な限り一緒に考え助言や提案を行っています。	はい…94% いいえ…6%	今後も引き続き継続していきます。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	父母の会、保護者会等の活動は行っていません。	はい…6% いいえ…31% わからない…63%	今後、必要であれば検討します。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	契約時、管理者より契約書をもとに苦情窓口の説明を行っています。苦情や意見に対しては都度、迅速に対応させて頂いています。	はい…88% わからない…12%	今後も、苦情や意見があった時は迅速かつ丁寧に対応させていただきます。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	個々に合わせた意思疎通ができるよう対応しています。保護者には送迎時または連絡帳を活用し情報共有を行い、必要であれば電話で情報を伝える事もあります。	はい…94% わからない…6%	今後も引き続き継続していきます。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	一年に数回お便りを作成し、必要な情報や事業所での活動を、お知らせしています。	はい…100%	今後も引き続き継続していきます。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報に記載してある書類やファイルは施錠できる場所に保管し外部の目に触れる事のないようにしています。また不要になった書類はシュレッターにかけ処分しています。	はい…81% わからない…19%	今後も引き続き徹底して継続していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各マニュアルは事業所内に設置しています。マニュアルの説明は契約時に行っています。	はい…88% いいえ…6% わからない…6%	今後も契約時、契約書をもとにマニュアルを説明し保護者にしっかり伝え周知徹底ができるようにしていきます。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	二カ月に一回の頻度で避難訓練を実施しています。避難時は氷丘公民館の一部を借りています。また、防災センターに見学に行き、避難訓練等の体験をさせてもらっています。	はい…94% わからない…6%	利用予定表の用紙に避難訓練の日時等を記載し訓練日が分かるようにしています。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	日々の振り返りをする際、スタッフの支援時の対応の振り返りも併せて行っています。また虐待防止委員会を設置し委員会の開催をしたり、事業所内外の研修にも積極的に参加しています。		スタッフ間での連携を図り虐待防止に努めるとともに、今後も事業所内外の研修に参加しスタッフ全体で周知徹底を行っていきます。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	やむを得ず身体拘束が必要な場合はスタッフ間で十分な確認を行ったうえ状況把握をし保護者に説明をします。個別支援計画に記載し保護者と共通理解をします。		やむを得ず身体拘束が必要な場合は、保護者にしっかり説明を行い了解のもと適切に対応していきます。また個別支援計画に記載し保護者の了承を得ます。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	契約時アレルギーの有無を確認しアレルギーのある利用者についてはフェイスシートに細かく記入して頂きスタッフ全員が周知しています。おやつやクッキングは細心の注意を払い適切な対応をしています。		今後も引き続き継続していきます。
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	小さな気付きでもスタッフ間で報告、検討を行いヒヤリハットを記入し全体で確認をしています。長期休み終了時、会議にてヒヤリハットの報告をし大きな事故にならないよう対策を検討しています。		今後も引き続き継続していきます。